

県民まちなみ緑化事業の実施箇所の生育状況 (生育カルテR5調査結果)

調査概要

● 調査対象

平成30年～令和4年度に事業実施した1,144箇所（撤去分除く）

● 調査方法

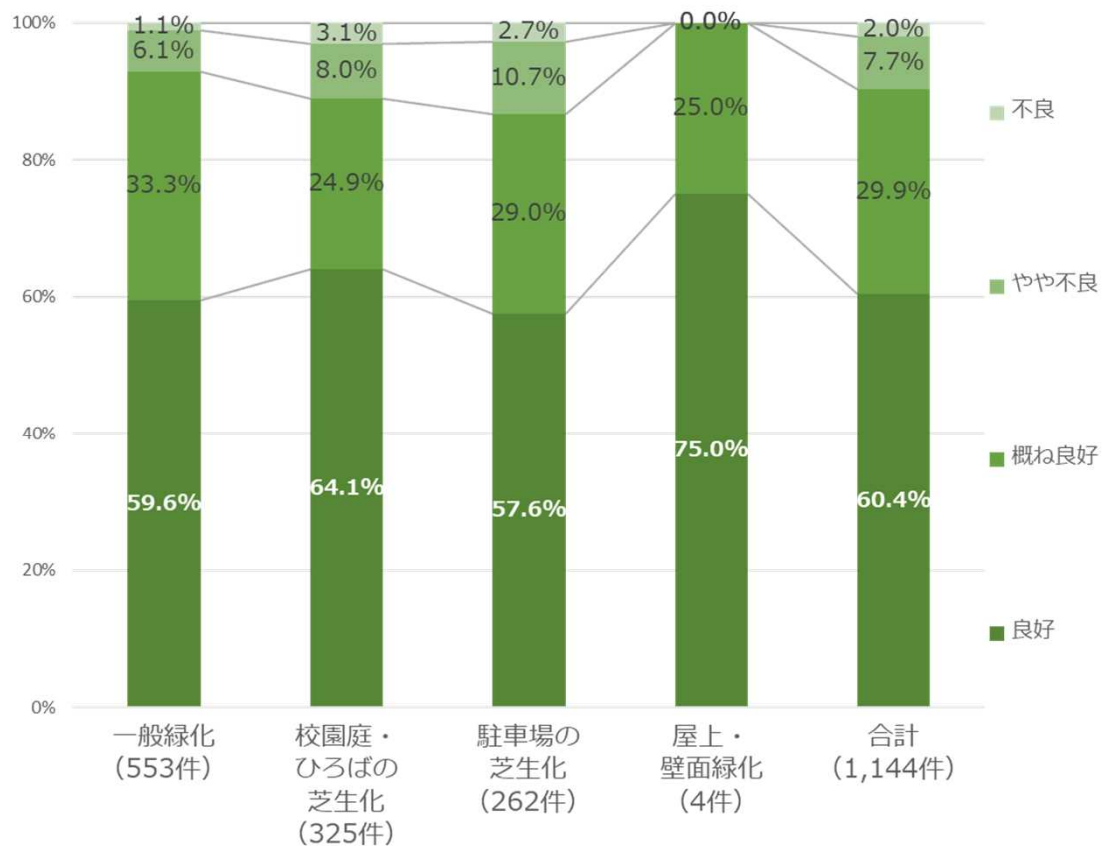
（1）各県民局駐在の「緑のパトロール隊」が巡回し、植生の状況を目視で調査

（2）生育状況について以下の4段階で評価

- | | |
|------------------------|--------|
| ①100%の植栽等が良好に生育 | 1 良好 |
| ②100%未満80%以上の植栽等が良好に生育 | 2 概ね良好 |
| ③80%未満50%以上の植栽等が良好に生育 | 3 やや不良 |
| ④良好に生育している植栽等が50%未満 | 4 不良 |

※ 評価2以上（良好又は概ね良好）であれば、良好に維持できていると判断

1 緑化メニュー別



● 全体

- ・ 評価2以上は、全体の90.3%
- ・ 最低評価の4は全体の2%

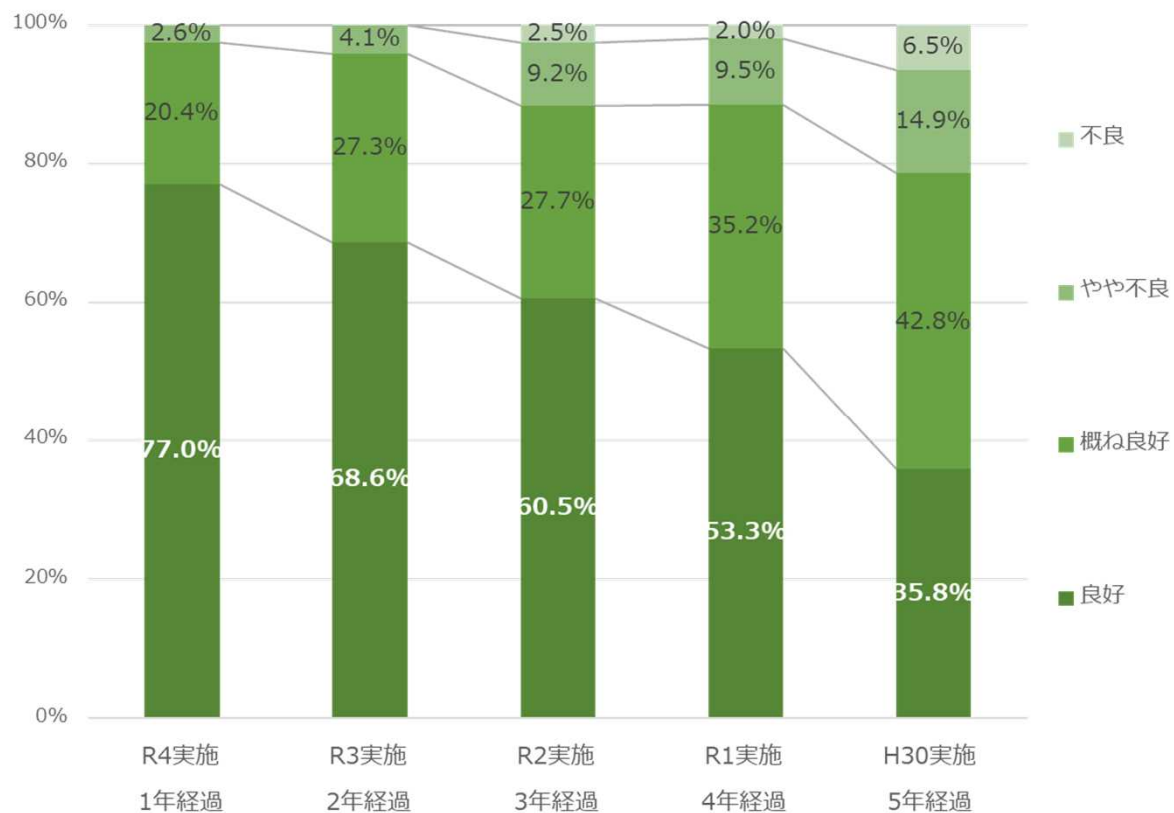
● 一般緑化

- ・ 評価2以上は、92.8%

● 校園庭・ひろばの芝生化及び駐車場の芝生化

- ・ 評価2以上は、90%未満で、他メニューに比べ若干低くなっている

2 事業実施年度別



- 評価2以上となった箇所の割合は5年経過時点でも8割に近く、概ね良好に維持できている
- ただし、植栽後年数が経過するほど低くなる傾向にある

- ・ 1年経過 (R 4) 97.4%
- ・ 2年経過 (R 3) 95.9%
- ・ 3年経過 (R 2) 88.2%
- ・ 4年経過 (R 1) 88.5%
- ・ 5年経過 (H30) 78.6%

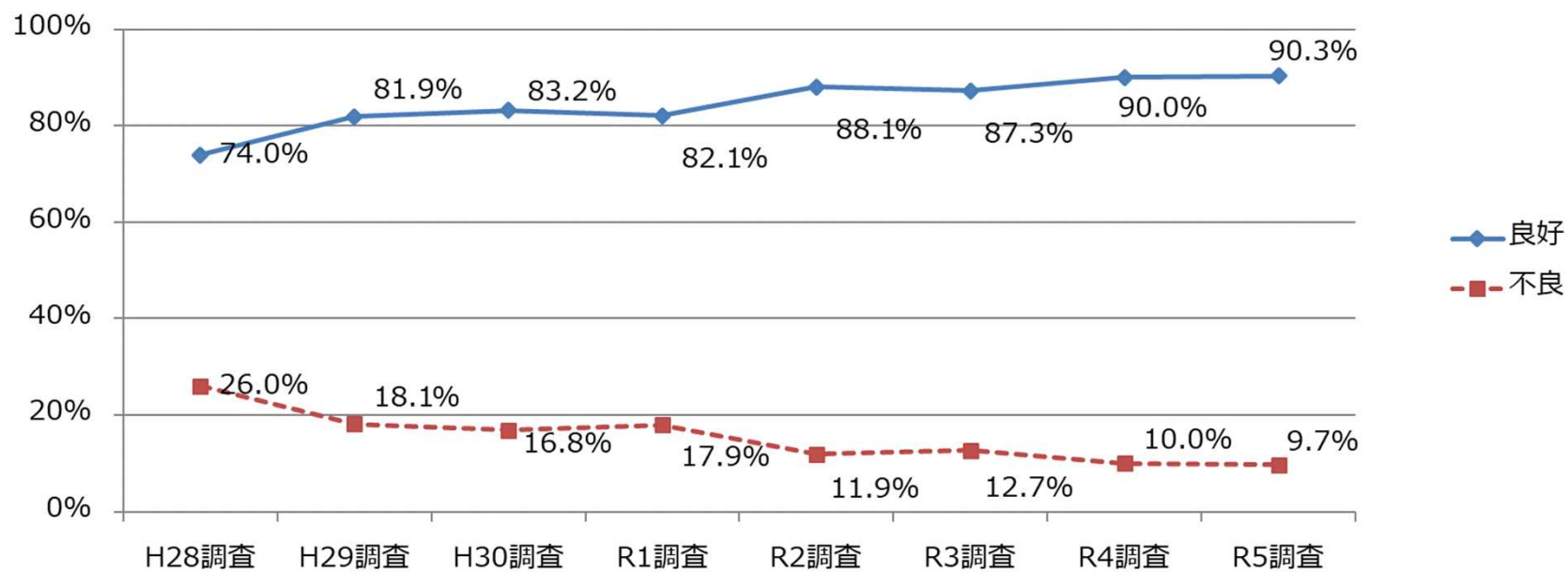
3 前回（R4）調査との比較

実施年度	評価変動なし	評価アップ	評価ダウン
H30	175	2	24
	87.1%	1.0%	11.9%
R1	166	13	21
	83.0%	6.5%	10.5%
R2	186	7	45
	78.2%	2.9%	18.9%
R3	197	7	39
	81.1%	2.9%	16.0%
計	724	29	129
	82.1%	3.3%	14.6%

- 事業実施箇所毎のR5・R4調査での評価推移
※個別比較が可能なH30～R3の4カ年分を比較
 - ・ R5調査対象年度：H30～R4
 - ・ R4調査対象年度：H29～R3
- 概ね8割が評価変動なしで現状維持できている
- 植栽後年数経過による評価推移の差はみられないものの、全体の約15%は評価ダウンしている

※ 上段：事業実施箇所数 下段：割合

4 調査年度別



良好が微増傾向、不良が微減傾向にあり、高い割合で良好な生育状況を保っていることが分かる

(参考) 「花と緑の専門家講習会」の受講義務付け効果

実施年度		4年経過時の評価				備考
		良好	概ね良好	やや不良	不良	
第2期 (講習義務 付け前)	H23	30.8%	50.5%	16.5%	2.2%	H27調査
	H24	24.5%	53.8%	16.1%	5.6%	H28調査
	H25	22.4%	55.2%	17.5%	4.9%	H29調査
	H26	24.2%	54.9%	16.4%	4.5%	H30調査
	H27	30.3%	54.1%	10.7%	4.9%	R1調査
	平均 (①)	26.4%	53.7%	15.4%	4.4%	
		80.1%		19.9%		
第3期 (講習義務 付け後)	H28	34.1%	53.5%	7.5%	4.9%	R2調査
	H29	28.9%	56.2%	10.4%	4.5%	R3調査
	H30	38.7%	46.2%	11.1%	4.0%	R4調査
	R1	53.3%	35.2%	9.5%	2.0%	R5調査
	平均 (②)	38.8%	47.8%	9.6%	3.9%	
		86.5%		13.5%		
第3期と第2期平均の差 (②-①)		12.3%	▲5.9%	▲5.8%	▲0.6%	
		6.4%		▲6.4%		

- 第3期 (H28) より住民団体が事業実施する場合に、「花と緑の専門家講習会」の受講を義務付け
- 義務付け前である第2期の実施箇所の4年経過時の評価を平均値と比較した結果、「良好」「概ね良好」の割合は6.4%改善しており、受講義務付けの効果を確認